

OVERVIEW OF U.S. TAXATION

はじめに、米国税法の概要を把握しておきましょう。

■ 米国税法の概要と出題範囲

米国の税は、課税主体の観点から、連邦政府が課す連邦税（**federal taxes**）、州政府が課す州税（**state taxes**）、郡や市などの地方自治体が課す地方税（**local taxes**）に分類することができます。U.S. CPA 試験では、連邦税（**federal taxes**）のみが出題の対象となります。

Federal Taxes (連邦税)	State Taxes (州税)	Local Taxes (地方税)
------------------------	---------------------	----------------------

関税（**custom duties**）以外のすべての連邦税（内国税）は、内国歳入法（**IRC : Internal Revenue Code**）に規定され、日本の国税庁に相当する内国歳入庁（**IRS : Internal Revenue Service**）により執行されています。

I. Internal Revenue Code (内国歳入法)	税法に相当。関税以外のすべての連邦税が規定されている。
II. Federal Tax Regulations (連邦税法施行規則)	財務省（内国歳入庁）が発行する内国歳入法の解釈指針。
III. Tax Court Decisions (租税裁判所の判例)	租税裁判所による内国歳入法に関する判決。

(Becker 2015 edition, R2-55)

連邦税のなかにも様々な種類の税金がありますが、U.S.CPA 試験においては、「所得税（**income tax**）」と、「贈与税・相続税（**gift and estate tax**）」が出題されます。

Income Taxes (所得税)	Gift and Estate Taxes (贈与税・相続税)
「所得」に対して課される税金	「財産の移転」に際して課される税金

配点が比較的高いのは、「個人所得税（**individual income tax**）」と「法人所得税（**corporate income tax**）」です。なお、米国には、パートナーシップや S コーポレーション等の特殊な組織形態があり、これらは原則として所得税を支払うことはありませんが、その所得の情報申告に関しても出題範囲に含まれています。

■ 所得税とは？

個人所得税とは、個人が1年間に稼いだ所得に対して課される税金です。所得税では、

「**申告納税方式 (self-assessment system)**」が採用されており、1年間に稼いだ所得とそれに係る税額を自分で計算し、その税額を申告・納付することになっています。

なお、申告・納付をする際に行う手続きを「確定申告」といいます。

* 申告納税方式 - 税金を自ら計算して自ら申告・納付する方法

* 賦課課税方式 - 税金を課す地方自治体等が税金を計算し、納税者が税金を納める方法

■ 公平な課税とは？

所得税は公平に課税されなければなりません。公平な課税とは、それぞれ**個人の税負担能力 (= 担税力) に応じた課税**をすることを意味します。そこで、所得税では、個人の税負担能力 (担税力) に応じた課税をするために、「**超過累進税率 (progressive rate)**」を適用して税額が計算される仕組みとなっています。さらに、米国では、「**申告資格 (filing status)**」に応じて適用される税率表が異なります。

申告資格 (filing status) には、以下の5種類があり、課税年度末の時点で納税者がおかれている状況 (結婚しているかどうか、家族構成など) をもとに、申告資格を決定することになります。申告資格の詳細については、第3章で学習します。

- (1) MFJ : Married Filing Jointly / Joint Return (夫婦合算申告)
- (2) MFS : Married Filing Separately / Separate Return (夫婦個別申告)
- (3) Single (単身者)
- (4) Qualifying Widow (er) / Surviving Spouse (適格寡婦／夫)
- (5) Head of Household (特定世帯主)

※ **税率について** : 税額 = 課税標準 × 税率で計算される。

① 累進税率 (progressive rate) e.g., 連邦所得税 (個人・法人)、連邦贈与税・相続税

累進課税とは、課税標準 (課税所得、課税贈与額など) をいくつかの階層に区分し、区分した課税標準が増えるに従って適用する税率が高くなる仕組みの課税方式をいう。

② 逆進税率 (regressive rate) ※税制上は稀である。

逆進課税とは、課税標準が増えるに従って適用する税率が低くなる仕組みの課税方式をいう。

③ 比例税率 (proportional rate) e.g., 売上税、固定資産税

課税標準に対して適用される均一の税率をいう。

■ 日本と米国の大きな違いは？

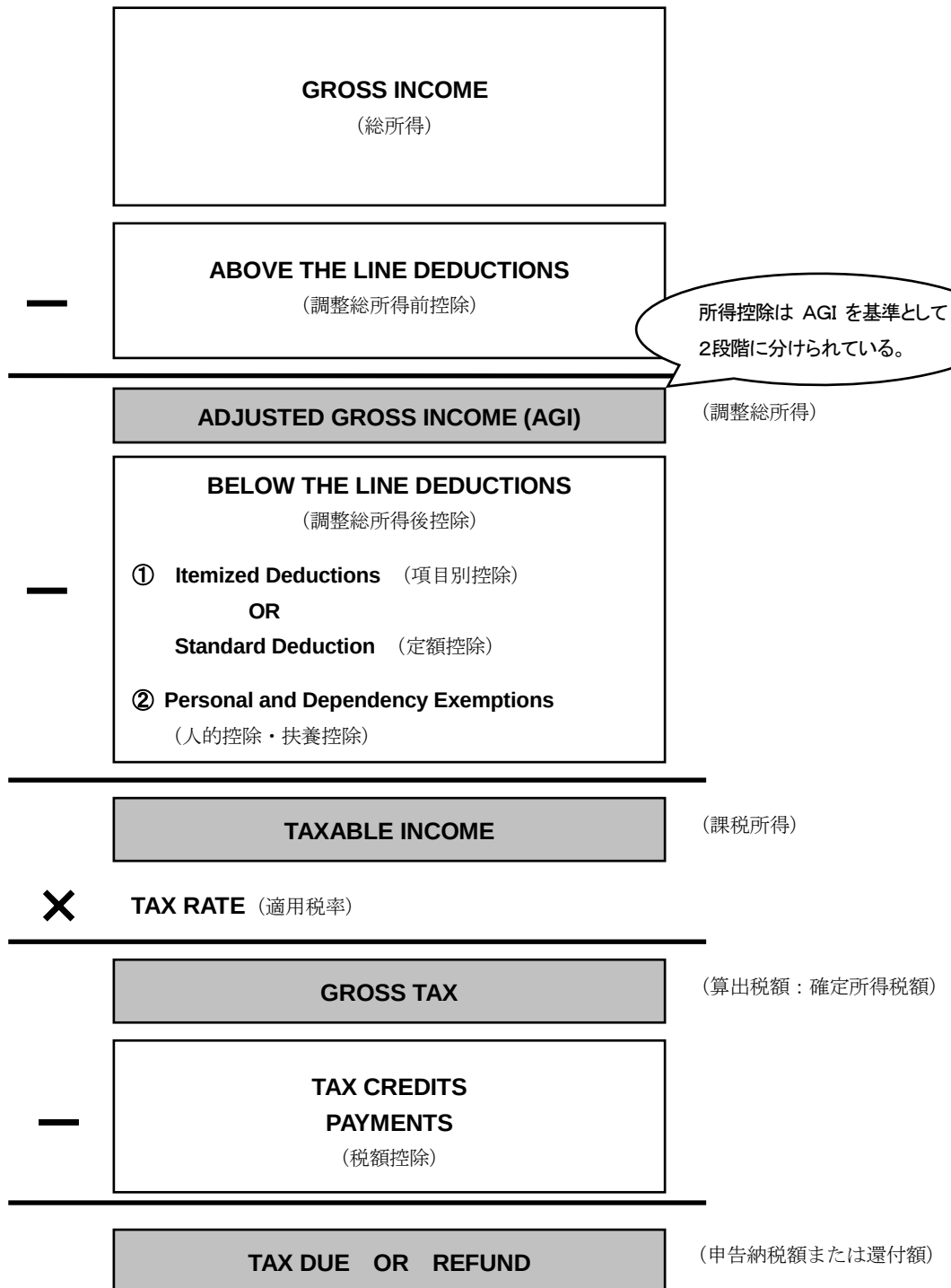
日本では、一般的なサラリーマンの場合、会社が年末調整をしてくれるので (年末調整によってその年の所得税の納付が完了することになるので)、基本的に、自分で確定申告を行う必要はないとされています。

一方、米国では、一定額以上の所得がある個人は、原則として、自ら所得税申告書を作成し、確定申告を行わなければなりません。米国には「年末調整」という制度がないため、一般的なサラリーマンであっても、確定申告が義務付けられているのです。

<参考> 日本では利子所得や配当所得についていわゆる源泉分離課税が行われていますが、米国では原則としてこれらの所得についても確定申告をする総合課税方式が採用されています。

2. Form 1040 : Individual Income Tax Return (所得税申告書の構成)

所得税申告書の骨組み



個人の所得税申告書において、所得控除 (deductions) は、「調整総所得 (adjusted gross income : AGI)」を基準として上か下かで2段階に分けられている。

(1) Above the Line Deductions (Adjustments)

AGIの上で控除する項目を「調整総所得前控除 (above the line deduction)」という。

(2) Below the Line Deductions

AGIの下で控除する項目を「調整所得後控除 (below the line deduction)」という。

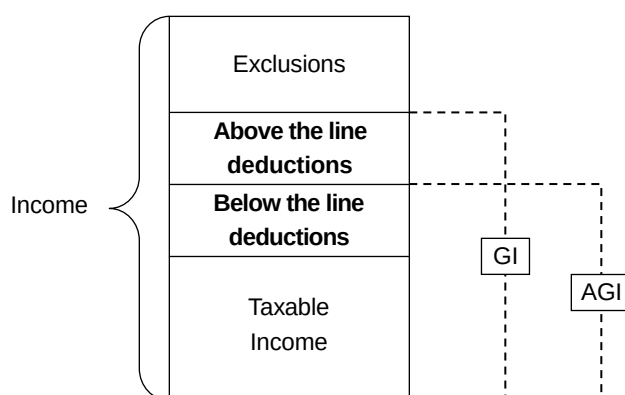
① 「項目別控除 (itemized deductions)」 または 「定額控除 (standard deduction)」

のいずれか**大きい**ほうを選択して控除することができる。

※ 定額控除 (standard deduction) は、標準控除と訳されることもある。『項目別控除 (itemized deductions) の概算控除』に相当するもので、申告資格 (filing status) に応じてある一定額を控除する制度である。

② 「人的控除 (personal exemptions)」には2種類あり、納税者本人の控除と配偶者の控除がある。さらに、「扶養控除 (dependency exemptions)」として、一定の要件を満たした扶養家族の人数分、控除することができる。1人当たりの控除額は、\$3,950 (2014年度) である。

<参考> 日本でいえば、基礎控除、配偶者控除、扶養控除に相当するものである。

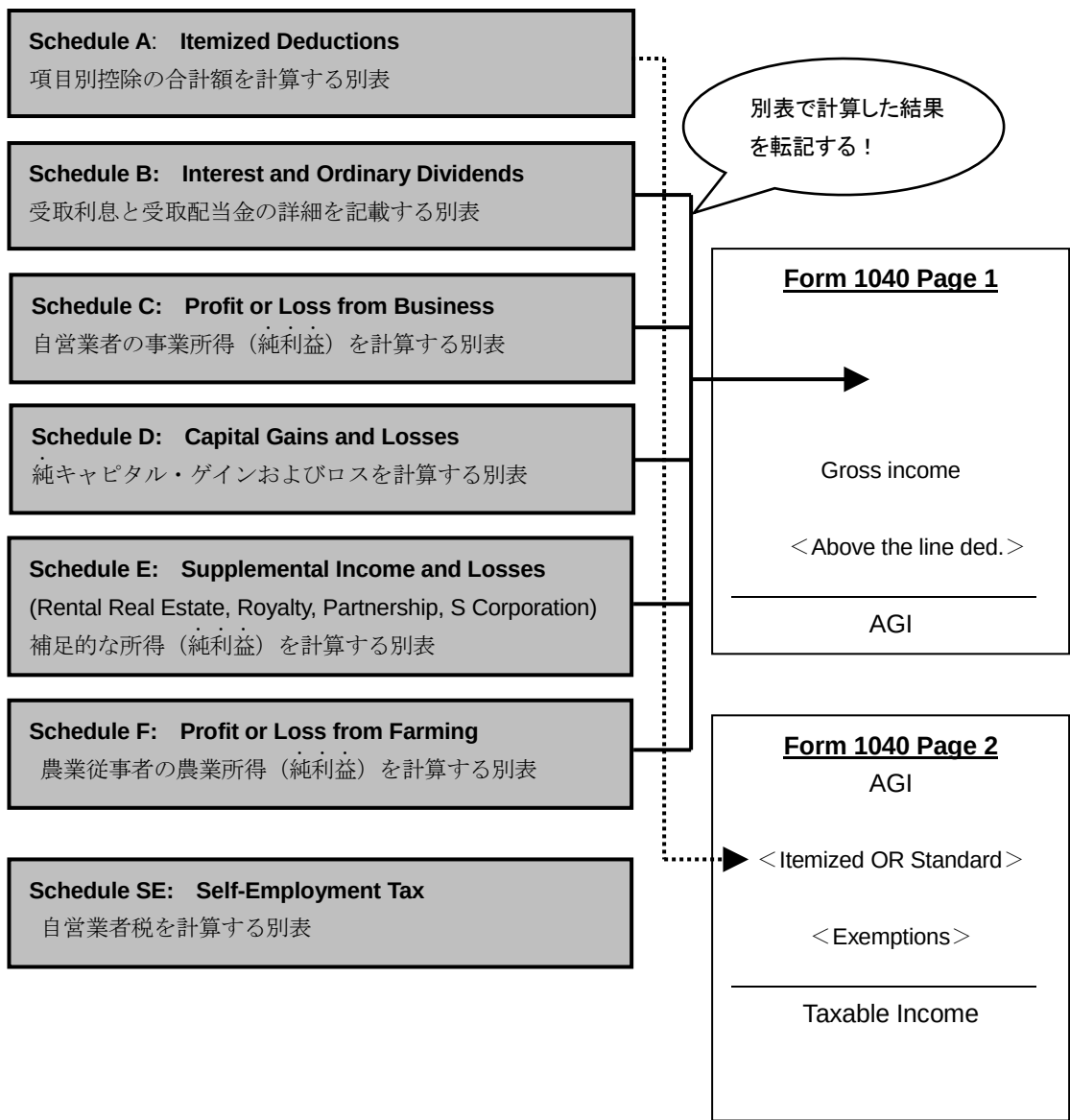


<参考> 申告納税額がある場合、通常、小切手またはクレジットカードで納付することになる。

一方、還付額がある場合、納税者が指定した銀行口座へ振込んでもらうか、もしくは、翌年の予定納税に充当することができる。予定納税については、第2章で学習する。

＜Schedule（別表）＞

申告書上の一部の項目は、別表において計算しその結果を **Form 1040**の1 ページ目、または2 ページ目に転記する。出題される可能性が高い別表には、次のようなものがある。



(2) Taxable Year (課税年度：所得税の計算期間)

Annual accounting periods are used to measure taxable income. The taxable year may be a calendar year or a fiscal year under certain restrictions.

課税所得を計算するためには期間を区切る必要があり、この課税所得を計算するために区切られた会計年度のことを、課税年度 (taxable year) という。

1月1日から12月31日の1年間＝「**暦年課税年度 (calendar year)**」を採用している場合が多いが、12月31日以外の暦月最終日に終了する1年間＝「**会計課税年度 (fiscal year)**」を用いることも認められている。

※「**会計52-53週課税年度 (52/53-week tax year)**」：52～53週で成り立つ、每期同じ月の同じ最終曜日（例：1月の最終金曜日）に終了する課税年度をいう。

※「**短期課税年度 (short taxable year / short period)**」：課税年度の期間を変更した場合などに生じる1年（12ヵ月）に満たない課税年度をいう。詳細は、PART IV Corporation で学習する。

(3) When to File? (申告期限)

① Due Date : April 15

Individual taxpayers must file on or before the fifteenth day of the fourth month following the close of the taxpayer's taxable year which is April 15.

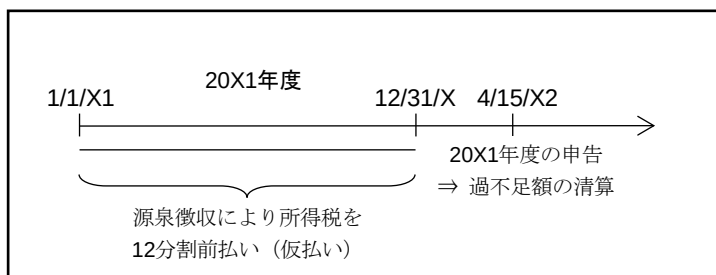
申告義務のある納税者は、原則として、その年の翌年の4月15日（calendar year を採用している場合）までに申告書を提出しなければならない。納付すべき所得税額（申告納税額）の納付期限も、その年の翌年の4月15日までである。なお、4月15日が土日祝日の場合、翌営業日となる。

※ 納税者が年度の途中で死亡した場合も、1月1日から死亡日までの所得を計算して申告義務があれば申告と納税が必要となり、申告期限は上記と同様。

<参考> 申告書の提出方法：インターネットを用いた「電子申告 (e-file)」システムを用いることもできるが、申告書を「郵送」する場合、申告期限内であれば 申告書提出日＝郵便局等の消印日（※IRS に到着した日ではない）となる。納税者が実際に郵送したが IRS に届かなかった場合などには納税者側に証明の義務があるため、送付レシートを必ず保管しておく。

<補足解説> 所得税の納税方法：所得税は申告期限に一括して支払うのではなく、その年度中に一定額以上前払いしておく必要がある。サラリーマン：給与所得者の場合、源泉徴収（給与からの天引き）により所得税を前（仮）払いしている。

サラリーマンの場合



② Extension

An **automatic six-month extension (until October 15)** is available for those taxpayers who are unable to file on the April 15 due date. Although granted automatically, the six-month extension must be requested by the taxpayer by filing Form 4868 by April 15.

延長に関する申請書 (Form 4868) を4月15日 (calendar year を採用している場合) までに提出し必要な納税を済ませることにより、**自動的に申告書の提出期限を6ヶ月延長することが可能。**

Point !**Payment Required with Extension**

The automatic six-month extension is **not an extension for the payment of any taxes owed.** The due date for payment of the taxes remains April 15. If the tax liability is not paid by his date, penalties will be imposed for late payment.

6ヶ月の延長を受けた場合であっても、税の納付期限は延長されない。税の納付期限は、4月15日 (calendar year を採用している場合) のままである。そこで、納付すべき所得税額がある者が6ヶ月の延長を受ける場合には、4月15日までに概算で納付を済ましておく必要がある。**納付期限までに完納しておかないと、未納税額に対して「延滞納付に関する罰則金 (failure-to-pay penalty)」が課せられることになる。**

Form 4868		Application for Automatic Extension of Time To File U.S. Individual Income Tax Return		OMB No. 1545-0074
Department of the Treasury Internal Revenue Service (99)		For calendar year 2014, or other tax year beginning , 2014, ending , 20		2014
Part I Identification		Part II Individual Income Tax		
1 Your name(s) (see instructions)		4 Estimate of total tax liability for 2014 . . . \$		
Address (see instructions)		5 Total 2014 payments . . .		
City, town, or post office		6 Balance due. Subtract line 5 from line 4 (see instructions) . . .		
State		7 Amount you are paying (see instructions).... ▶		
ZIP Code		8 Check here if you are "out of the country" and a U.S. citizen or resident (see instructions) . . . ▶ ☐		
2 Your social security number	3 Spouse's social security number	9 Check here if you file Form 1040NR or 1040NR-EZ and did not receive wages as an employee subject to U.S. income tax withholding . . . ▶ ☐		

Exercise

If a taxpayer requests an extension of time to file their return, by which date must they pay their tax liability?

- By the original due date of the tax return (April 15 for calendar year taxpayers).
- Any time between the original due date and the extension date.
- By the extension date.
- Within one month of actually filing their return.

Explanations

Choice "a" is correct. An extension to file a tax return is not an extension to pay the tax liability. Therefore, the amount of the tax liability should be estimated and forwarded with form 4868 (extension to file) prior to the original due date (generally April 15). If the tax liability is not paid by this date, penalties will be imposed for late payment.

※税の納付期限は、4月15日のままである。

<Form W-4 サンプル> 参考：日本でいえば、「給与所得者の扶養控除等（異動）申告書」に類似。

Form W-4 Department of the Treasury Internal Revenue Service		Employee's Withholding Allowance Certificate ▶ Whether you are entitled to claim a certain number of allowances or exemption from withholding is subject to review by the IRS. Your employer may be required to send a copy of this form to the IRS.		OMB No. 1545-0074 2014	
1 Your first name and middle initial Dennis		Last name Green		2 Your social security number	
Home address (number and street or rural route) 4 Jade Place City or town, state, and ZIP code Green Acres NY 47336		3 ☐ Single ☒ Married ☐ Married, but withhold at higher Single rate. Note. If married, but legally separated, or spouse is a nonresident alien, check the "Single" box. 4 If your last name differs from that shown on your social security card, check here. You must call 1-800-772-1213 for a replacement card. ▶ ☐			
5 Total number of allowances you are claiming (from line H above or from the applicable worksheet on page 2)		5 5		6 \$ 1,000	
6 Additional amount, if any, you want withheld from each paycheck		7 I claim exemption from withholding for 2014, and I certify that I meet both of the following conditions for exemption. • Last year I had a right to a refund of all federal income tax withheld because I had no tax liability, and • This year I expect a refund of all federal income tax withheld because I expect to have no tax liability. If you meet both conditions, write "Exempt" here ▶			
Under penalties of perjury, I declare that I have examined this certificate and, to the best of my knowledge and belief, it is true, correct, and complete.					
Employee's signature (This form is not valid unless you sign it.) ▶ Dennis Green		Date ▶		8 Employer's name and address (Employer: Complete lines 8 and 10 only if sending to the IRS.)	
9 Office code (optional)		10 Employer identification number (EIN)			

Generally, compensation for withholding purposes includes salaries, tips, bonuses, termination payments, vacation pay, and taxable fringe benefits. Taxes may also be withheld from certain other income including pensions and annuities, commissions, gambling winnings, unemployment compensation, and certain federal payments, such as social security.

(所得税の) 源泉徴収制度の対象となるのは、給与、チップ、賞与、退職金などである。この他には、年金収入、ギャンブル収入、失業保険給付金なども対象となっている。
 <参考> 非居住外国人の源泉徴収については、日米租税条約 (U.S. tax treaty) 等を参照のこと。

3. Estimated Tax Payments (予定納税)

(Becker, R2-54)

Taxpayers must make estimated quarterly tax payments on **income not subject to withholding** (e.g., income from self-employment, rents, interest, dividends, alimony, gains from the sale of assets, prizes and awards).

予定納税とは、**所得税が源泉徴収されることのない所得についての納税方法**である。

源泉徴収されることのない所得には、自営業者の事業収入、不動産の賃貸収入、配当収入などがある。源泉徴収されることのない所得がある納税者は、原則として、予定納税を行わなければならない。

For calendar-year individuals, required quarterly payments are due by the 15th of April, June, September, and January in the following taxable year.

予定納税義務のある納税者は、4月、6月、9月及び翌年1月の各15日 (calendar year を採用している場合) に年4回に分けて予定納税を行う。

1. Tax Rate Schedule and Tax Calculation (税率表と税額計算)

There are seven tax brackets applicable to individual taxpayers: 10%, 15%, 25%, 28%, 33%, 35% and 39.6%. These rates are progressive in that as a taxpayer's income increases, the taxpayer moves into higher tax brackets.

所得税では、原則、**超過累進税率 (progressive rate)** を適用して税額の計算を行う。

2014年度における所得税の最高税率は、39.6%である。

※超過累進税率 (progressive rate) とは、課税所得を7つの階層 (bracket) に分けて段階的に適用するもので、所得が多ければ多いほどより多額の税負担を要求しているものである。

納税者の**申告資格 (filing status)** に応じて適用される税率表 (tax rate schedule) が異なり、下記4種類の税率表が用意されている。これは、納税者の税負担能力 (= 担税力) に応じた課税を行うために、納税者のおかれている状態を考慮して税額を計算するためである。

Tax Rate Schedule

2014 Tax rate	Married Filing Jointly Surviving Spouse	Married Filing Separately
10%	\$ 0 – \$ 18,150	\$ 0 – \$ 9,075
15%	\$ 18,150 – \$ 73,800	\$ 9,075 – \$ 36,900
25%	\$ 73,800 – \$ 148,850	\$ 36,900 – \$ 74,425
28%	\$ 148,850 – \$ 226,850	\$ 74,425 – \$ 113,425
33%	\$ 226,850 – \$ 405,100	\$ 113,425 – \$ 202,550
35%	\$ 405,100 – \$ 457,600	\$ 202,550 – \$ 228,800
39.6%	\$ 457,600 over	\$ 228,800 over

Tax rate	Head of Household	Single
10%	\$ 0 – \$ 12,950	\$ 0 – \$ 9,075
15%	\$ 12,950 – \$ 49,400	\$ 9,075 – \$ 36,900
25%	\$ 49,400 – \$ 127,550	\$ 36,900 – \$ 89,350
28%	\$ 127,550 – \$ 206,600	\$ 89,350 – \$ 186,350
33%	\$ 206,600 – \$ 405,100	\$ 186,350 – \$ 405,100
35%	\$ 405,100 – \$ 432,200	\$ 405,100 – \$ 406,750
39.6%	\$ 432,200 over	\$ 406,750 over

<補足解説> 5種類の申告資格を「税額が小さく計算される順 (課税所得を同額と仮定した場合)」に並べると、一般的には、以下のようになる。

↓ 税額 小 (一番有利)	① MFJ : Married Filing Jointly / Surviving Spouse
	② Head of Household
	③ Single
	④ MFS : Married Filing Separately (※p.37の参考も参照。)
↓ 税額 大 (一番不利)	

EXAM TIP

For 2014, a reduced tax rate of 15% for most taxpayers (0% for taxpayers in the 10 or 15% tax brackets and 20% for taxpayers in the 39.6% tax bracket) is provided for qualified dividends and long-term capital gains.

2014年度において、**適格配当** ("qualified" dividend) と **長期キャピタル・ゲイン** (long-term capital gains) に対しては、**通常、一律15%の「軽減税率」**が適用される（但し、限界税率が10%/15%の低額所得者は0%、限界税率が39.6%の高額所得者は20%となる）。
※限界税率 (marginal tax rate) とは、その納税者にとって最高となる階層の税率をいい、タックス・プランニングにおいて節税効果等を計算する際に用いられる。

Example**4th STEP 税額の計算**

左記の税率表 (tax rate schedule) を用いて、所得税額を算出してみよう。

Mr. and Mrs. Ford are filing a joint return. Their taxable income is \$ 105,000 in 2014.

\$ 73,800 – \$ 148,850	× 25% → (\$105,000 – \$73,800) × 25% = \$7,800
\$ 18,150 – \$ 73,800	× 15% → (\$73,800 – \$18,150) × 15% = \$8,347.5
\$ 0 – \$ 18,150	× 10% → \$18,150 × 10% = \$1,815

Gross tax = \$1,815 + \$8,347.5 + \$7,800 = \$17,963

<参考> 税額表 (tax table)

課税所得 (taxable income) が \$ 100,000未満の場合には、下記のような税額表 (tax table) が用いて税額を算出する。

Tax Table**2014 Tax Table — Continued**

If line 43 (taxable income) is—						If line 43 (taxable income) is—						If line 43 (taxable income) is—					
At least		But less than		And you are—		At least		But less than		And you are—		At least		But less than		And you are—	
				Single	Married filing jointly *	Married filing separately	Head of a household					Single	Married filing jointly *	Married filing separately	Head of a household		
Your tax is—						Your tax is—						Your tax is—					
50,000						53,000						56,000					
50,000	50,050	8,363	6,596	8,363	6,919	53,000	53,050	9,113	7,046	9,113	7,669	56,000	56,050	9,863	7,496	9,863	8,419
50,050	50,100	8,375	6,604	8,375	6,931	53,050	53,100	9,125	7,054	9,125	7,681	56,050	56,100	9,875	7,504	9,875	8,431
50,100	50,150	8,388	6,611	8,388	6,944	53,100	53,150	9,138	7,061	9,138	7,694	56,100	56,150	9,888	7,511	9,888	8,444
50,150	50,200	8,400	6,619	8,400	6,956	53,150	53,200	9,150	7,069	9,150	7,706	56,150	56,200	9,900	7,519	9,900	8,456
50,200	50,250	8,413	6,626	8,413	6,969	53,200	53,250	9,163	7,076	9,163	7,719	56,200	56,250	9,913	7,526	9,913	8,469
50,250	50,300	8,425	6,634	8,425	6,981	53,250	53,300	9,175	7,084	9,175	7,731	56,250	56,300	9,925	7,534	9,925	8,481
50,300	50,350	8,438	6,641	8,438	6,994	53,300	53,350	9,188	7,091	9,188	7,744	56,300	56,350	9,938	7,541	9,938	8,494
50,350	50,400	8,450	6,649	8,450	7,006	53,350	53,400	9,200	7,099	9,200	7,756	56,350	56,400	9,950	7,549	9,950	8,506
50,400	50,450	8,463	6,656	8,463	7,019	53,400	53,450	9,213	7,106	9,213	7,769	56,400	56,450	9,963	7,556	9,963	8,519
50,450	50,500	8,475	6,664	8,475	7,031	53,450	53,500	9,225	7,114	9,225	7,781	56,450	56,500	9,975	7,564	9,975	8,531
50,500	50,550	8,488	6,671	8,488	7,044	53,500	53,550	9,238	7,121	9,238	7,794	56,500	56,550	9,988	7,571	9,988	8,544
50,550	50,600	8,500	6,679	8,500	7,056	53,550	53,600	9,250	7,129	9,250	7,806	56,550	56,600	10,000	7,579	10,000	8,556
50,600	50,650	8,513	6,686	8,513	7,069	53,600	53,650	9,263	7,136	9,263	7,819	56,600	56,650	10,013	7,586	10,013	8,569
50,650	50,700	8,525	6,694	8,525	7,081	53,650	53,700	9,275	7,144	9,275	7,831	56,650	56,700	10,025	7,594	10,025	8,581
50,700	50,750	8,538	6,701	8,538	7,094	53,700	53,750	9,288	7,151	9,288	7,844	56,700	56,750	10,038	7,601	10,038	8,594
50,750	50,800	8,550	6,709	8,550	7,106	53,750	53,800	9,300	7,159	9,300	7,856	56,750	56,800	10,050	7,609	10,050	8,606
50,800	50,850	8,563	6,716	8,563	7,119	53,800	53,850	9,313	7,166	9,313	7,869	56,800	56,850	10,063	7,616	10,063	8,619
50,850	50,900	8,575	6,724	8,575	7,131	53,850	53,900	9,325	7,174	9,325	7,881	56,850	56,900	10,075	7,624	10,075	8,631
50,900	50,950	8,588	6,731	8,588	7,144	53,900	53,950	9,338	7,181	9,338	7,894	56,900	56,950	10,088	7,631	10,088	8,644
50,950	51,000	8,600	6,739	8,600	7,156	53,950	54,000	9,350	7,189	9,350	7,906	56,950	57,000	10,100	7,639	10,100	8,656

2. Filing Status (申告資格の決定)

(Becker, R1-8~9)

Filing Status Check only one box.	1 ☐ Single	4 ☐ Head of household (with qualifying person). (See instructions.) If the qualifying person is a child but not your dependent, enter this child's name here. ▶
	2 ☐ Married filing jointly (even if only one had income)	
	3 ☐ Married filing separately. Enter spouse's SSN above and full name here. ▶	5 ☐ Qualifying widow(er) with dependent child

課税年度末の時点で納税者がおかれている状態（結婚しているかどうか、家族構成など）をもとに、申告資格を決定する。

Married Persons (既婚者)

課税年度末の時点で結婚している夫婦の場合には、以下のいずれかを選択できる。

※ 結婚している夫婦で一方の配偶者にしか所得がない場合（もしくは配偶者の片方に所得が著しく偏っている場合）には、通常、夫婦合算申告 (MFJ) を選択した方が有利である。一般的に、結婚している夫婦は、夫婦合算申告 (MFJ) を選択している。

(1) MFJ : Married Filing Jointly / Joint Return (夫婦合算申告)

In order to file a joint return, the parties must be **married at the end of the year (end-of-year test)**, living together in a recognized common law marriage, or married and living apart but **NOT divorced or legally separated**.

課税年度末の時点で結婚している夫婦が、所得を合算して申告する形。

夫婦合算申告 (MFJ) を用いる場合には、申告書上、夫婦 2 人のサインが必要である。

課税年度末の時点で、離婚または法的に別居している場合には認められない。

Point !

Death of Spouse

If one spouse dies during the taxable year, a joint return may be filed.

配偶者の死亡年度は、夫婦合算申告 (MFJ) を用いることができる。

(2) MFS : Married Filing Separately / Separate Return (夫婦個別申告)

A married taxpayer may file a separate return even if only one spouse had income.

課税年度末の時点で結婚している夫婦が、それぞれ個別に申告する形。

一方の配偶者にしか所得がない場合でも、夫婦個別申告 (MFS) を用いることができる。

In a separate property state, a husband and wife who elect to file married filing separately must report their own income, exemptions, credits, and deductions on their individual tax returns. In a community property state, most of the income, deductions, credits, etc., are split 50/50.

カリフォルニア州などのコミュニティー・プロパティ (community property) 州の場合、夫婦の合算所得を 50 : 50 に分割して個別申告を行う。それ以外の州では、自身が稼いだ所得をそれぞれ申告することになる。

＜参考＞ 夫婦個別申告（MFS）における注意点

夫婦個別申告（MFS）を用いた場合、特別な制限規定が適用されるため、その点についても不利だといえる。例えば、夫婦個別申告を用いると、① 一部の税額控除が利用できない、② 純キャピタル・ロスの通常所得との損益通算枠が\$1,500である（※通常1申告書\$3,000）：詳細は第8章で学習する、③ 片方の配偶者が項目別控除（itemized deduction）を利用した場合もう一方の配偶者も項目別控除を利用しなければならず定額控除（standard deduction）を選択できないなど。

Unmarried Persons（独身者）

課税年度末に結婚していない独身者の場合には、以下のいずれかの申告資格を用いることになる。

(3) Single（単身者）

Any taxpayer who does not qualify for one of the other filing classes must use single status by default. Single OR legally separated at year end.

課税年度末に独身または法的別居状態にある者で、他のどの申告資格にも該当しない者が、単身者として申告する。

(4) Qualifying Widow (er) / Surviving Spouse（適格寡婦／夫）

A qualifying widow(er) (also called “surviving spouse” status) is a taxpayer who may use the joint tax return standard deduction and rates (but not the exemption for the deceased spouse) **for each of two taxable years following the year of death of his or her spouse**, unless he or she remarries.

配偶者と死別し、課税年度末に独身で、以下の要件をすべて満たしている者が、

配偶者の死亡年度後2年間に限って利用することができる申告資格である。

夫婦合算申告（MFJ）と同じ税率表及び定額控除額（standard deduction）を用いることができるが、あくまでも独身者の申告資格であるため、死亡した配偶者の人的控除（personal exemptions）を用いることはできない。

Point !

Surviving Spouse

- a. Has not remarried at year end; 年度末の時点で再婚していないこと。
- b. Was qualified to file a joint return in the year of death;
配偶者の死亡年度に夫婦合算申告（MFJ）をする資格があったこと。
- c. Maintain **principal residence for dependent child** for the **whole year**.
『1年間』、扶養家族である『子供』が同居していること。

＜参考＞ なおかつ、世帯の生活費（家計維持費）の50%超を負担していること。
ここでいう子供には、継子・養子・孫を含む。但し、里子を除く。

(5) Head of Household (特定世帯主)

Head of household status entitles certain unmarried taxpayers to pay lower taxes.

The lower tax results from a larger standard deduction and "wider" tax brackets.

課税年度末に独身で、以下の要件をすべて満たしている者が用いることができる申告資格である。単身者 (single) よりも有利な申告資格である。

Point !

Head of Household

- a. The individual is not married, is legally separated, or is married and has lived apart from his/her spouse for the last six months of the year at the close of the taxable year, and is *not* a "qualifying widow(er)";

年度末に独身（みなし独身も含む）であり、適格寡婦(夫)に該当しない。

※ みなし独身規定とは、子供がいる納税者が、課税年度末の時点で法的に結婚していても夫婦個別申告 (MFS) を選択するほかない状況にあり、その配偶者と年度の後半6ヶ月間別居している場合、独身としてみなすという規定である。

- b. The individual is U. S. citizen or resident (not a nonresident alien);

米国市民または居住者であること（非居住外国人ではないこと）。

- c. The individual maintains as his or her home a household that, for more than half the taxable year, is the principal residence of:

世帯の生活費（家計維持費）の50%超を負担していて、『半年』超の期間、

(i) Dependent Relatives (Must Live With)

A dependent relative (other than a father or mother) must live with the taxpayer. Note that cousins, foster parents, and unrelated dependents do not qualify as relative.

扶養家族である『親族』 と同居していること。

※ 税法上の親族とは、3親等以内の親族をいう。

(ii) Dependent Child (Must Live With)

Legally adopted child, stepchild, and grandchild qualify as a child. To qualify for head of household status, the child must be a "qualifying child" or a "qualifying relative".

扶養家族である子供と同居していること。＜参考＞ 一定の例外規定あり。

Exception

(iii) Dependent Parent (Not Required to Live With)

A dependent parent is not required to live with the taxpayer, provided the taxpayer maintains a home that was the principal residence of the parent for the entire year.

扶養家族である親とは同居している必要はない。

例：老人ホームにいる親の生活費を負担しているケース。

EXAM TIPQualifying Widow(er) / Surviving Spouse = Whole yearHead of Household = Half year**Exercise**

Marge and Homer are US citizens who have been married for a number of years, and have three dependent children. All of the children reside at home and meet the dependency requirements. Homer dies during 20X1. Provided that Marge does not remarry, what is her correct filing status for the following years:

- | | <u>20X1</u> | <u>20X2</u> | <u>20X3</u> | <u>20X4</u> |
|----|----------------------------|---------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| a. | Married
Filing
Joint | Surviving
Spouse | Surviving
Spouse | Single or
Head of
Household |
| b. | Married
Filing
Joint | Surviving
Spouse | Surviving
Spouse | Surviving
Spouse |
| c. | Surviving
Spouse | Surviving
Spouse | Single or
Head of
Household | Single or
Head of
Household |
| d. | Surviving
Spouse | Surviving
Spouse | Surviving
Spouse | Surviving
Spouse |

Explanations

Choice “a” is correct. During the year of her husband’s death, Marge may file a joint tax return. The criteria required to file a surviving spouse return are to have qualified to file a joint return during the year of the death; not to have remarried; to be a US citizen or resident, and to have one or more children living at home during the tax year. As all of these criteria are met, Marge may file as a surviving spouse during 20X2 and 20X3. During 20X4 she must file a Single tax return, unless she qualifies for Head of Household.

※配偶者の死亡年度は、夫婦合算申告(MFJ)を用いることができる。

Exercise

Beth and Pete Harris are still married, but are living apart pursuant to a separate maintenance decree dated April 1, 20X1. Beth’s mother is a widow and lives in a nursing home. Beth fully supports herself and her mother, including paying the nursing home charges. Beth’s 20X1 filing status is

- single.
- married filing separately.
- head of household.
- surviving spouse.

Explanations

Choice “c” is correct. Beth is considered unmarried because she is living apart from her husband under a separate maintenance decree. Her mother is a dependent and Beth maintains her mother’s household (i.e. the nursing home). It is not necessary for Beth’s mother to live with Beth in order for Beth to have head of household status.

※Beth氏は、みなし独身として扱われる。
※扶養家族である親とは同居している必要はない。

1. Personal Exemptions (人的控除)

(Becker, R1-10)

Exemptions	6a ☐ Yourself. If someone can claim you as a dependent, do not check box 6a 6b ☐ Spouse				Boxes checked on 6a and 6b _____ No. of children on 6c who: • lived with you _____ • did not live with you due to divorce or separation (see instructions) _____ Dependents on 6c not entered above _____ Add numbers on lines above ►																									
	c Dependents: <table border="1"> <thead> <tr> <th>(1) First name</th> <th>Last name</th> <th>(2) Dependent's social security number</th> <th>(3) Dependent's relationship to you</th> <th>(4) ☒ if child under 17 qualifying for child tax credit (see instructions)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td>☐</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td>☐</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td>☐</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td>☐</td></tr> </tbody> </table>					(1) First name	Last name	(2) Dependent's social security number	(3) Dependent's relationship to you	(4) ☒ if child under 17 qualifying for child tax credit (see instructions)					☐					☐					☐					☐
	(1) First name	Last name	(2) Dependent's social security number	(3) Dependent's relationship to you		(4) ☒ if child under 17 qualifying for child tax credit (see instructions)																								
						☐																								
						☐																								
				☐																										
				☐																										
If more than four dependents, see instructions and check here ► ☐																														
d Total number of exemptions claimed.. . . .																														

Generally, an individual is entitled to a personal exemption that is indexed annually for inflation. This amount is \$3,900 (2013) / \$3,950 (2014).

2014年度には、1人当たり一律 **\$3,950** を控除することが認められている。なお、控除額は、物価変動に伴って年々増加している。

(1) Taxpayer's Exemption (納税者本人の控除)

Unless claimed as a dependent on another return, each individual taxpayer is allowed a personal exemption. Persons eligible to be claimed as dependents on another's tax return will not be allowed a personal exemption on their own return.

納税者は、**他の納税者の扶養家族となっていない限り**、自身の人的控除 (personal exemption) を用いることができる。※ 他の納税者の扶養家族となっている場合には、自分の申告書であっても自身の人的控除を用いることができない。具体例は、第10章で学習する。

Point !

Only One Exemption Per Person

Only one exemption is allowed for each person.

人間1人につき1人分の控除しか認められない。

(2) Spouse's Exemption (配偶者の控除)**① Spouse as Personal Exemption on Joint Return**

An additional personal exemption is allowed for the spouse on a joint return.

原則として、夫婦合算申告 (MFJ) の場合に、配偶者の人的控除 (personal exemption) を用いることができる。＜参考＞ 夫婦合算申告はそもそも日本にはない。

The exemption for a spouse is always considered to be a personal exemption (not dependency exemption) even if the spouse does not work.

配偶者の控除は、たとえその配偶者に稼ぎがなく納税者本人により扶養されている場合であっても、扶養控除 (dependency exemption) とはならず、人的控除 (personal exemption) となるので注意しよう。

② Spouse as Personal Exemption on a Separate Return

Usually, a married taxpayer filing separately is entitled to claim only his or her own personal exemption (if any, dependency exemptions).

一般に、夫婦個別申告 (MFS) を用いた場合には、各自の申告上、自身の人的控除 (personal exemption) のみを用いることになる。

Point !**Separate Return - Spouse's Exemption**

A married taxpayer, who files a separate return, may claim his or her spouse's personal exemption **if the taxpayer's spouse has no gross income and was not claimed as a dependent of another taxpayer.**

但し、夫婦個別申告 (MFS) であっても、**その配偶者に総所得 (GI) がなく他の納税者の扶養家族ではない**のであれば、その配偶者の人的控除 (personal exemption) を用いることが認められている。

(3) Death During Year

If a person is born or dies during the year, he or she is entitled to a personal exemption for the entire year. Exemptions are not prorated.

課税年度中に死亡した場合であっても、「満額」の控除がとれる。

日割り計算の必要はない。

2. Dependency Exemptions (扶養控除)

(Becker, R1-11~14)

Exemptions	6a ☐ Yourself. If someone can claim you as a dependent, do not check box 6a	Boxes checked on 6a and 6b No. of children on 6c who: • lived with you • did not live with you due to divorce or separation (see instructions) Dependents on 6c not entered above Add numbers on lines above ►						
	b ☐ Spouse							
	c Dependents:							
	(1) First name Last name					(2) Dependent's social security number	(3) Dependent's relationship to you	(4) ☒ if child under 17 qualifying for child tax credit (see instructions)
	☐					☐	☐	☐
If more than four dependents, see instructions and check here ► ☐								
d Total number of exemptions claimed.. . . .								

扶養控除 (dependency exemption) とは、納税者が主に家族などを扶養している場合に、その生活費の負担を考慮して認められる控除である。扶養控除についても、2014年度には、1人当たり一律 **\$3,950** である。

A taxpayer is entitled to a dependency exemption for each qualifying child and qualifying relative. A person who is not the taxpayer's qualifying child may still qualify as a dependent as a qualifying relative.

納税者は、“Qualifying Child” (適格子供) の要件を満たした者、または、“Qualifying Relative” (適格親族) の要件を満たした者 について、扶養控除をとることができる。

Point !

Dependents (税法上の扶養家族)

Qualifying Child

OR

Qualifying Relative

- Close Relationship Test
- Age Limit Test
- Residency Requirement Test
- Eliminate Gross Income Test
- Support Test Changes

- Support Test
- Gross Income Test
- Joint Return Test
- Citizenship Test
- Relationship Test

<参考> 2004 年勤労家族減税法により、扶養控除 (dependency exemption)、特定世帯主 (head of household)、子女養育費税額控除 (child and dependent care credit)、子供税額控除 (child tax credit)、勤労所得税額控除 (earned income credit) などに共通して適用される「税法上の扶養子供」の定義として “Qualifying Child (適格子供)” が用いられるようになった。

EXAM TIP

課税年度中にその扶養家族が誕生または死亡した場合であっても、「満額」の控除がとれる。日割り計算の必要はない。

(1) Qualifying Child (適格子供)

次の4つの要件(テスト)をすべて満たした場合、“Qualifying Child”として税法上扱われる。

- a. **Close Relationship Test** : 納税者の「子供」であること。テ46ページ f.g.を参照。

Under close relationship test, to be a qualifying child of a taxpayer, the child must be the **taxpayer's son, daughter, stepson, stepdaughter**, brother, sister, stepbrother, stepsister, or a descendant of any of these. An individual legally adopted by the taxpayer, or an individual who is lawfully placed with the taxpayer for legal adoption by the taxpayer, is treated as a child of the taxpayer. A foster child who is placed with the taxpayer by an authorized placement agency or by judgment, decree, or other order of any court of competent jurisdiction also is treated as the taxpayer's child.

※ ここでいう「子供」には、継子 (stepchild)、一定の要件を満たした里子 (foster child)、養子 (adopted child)、兄弟姉妹、継兄弟姉妹、孫などが含まれる。

- b. **Age Limit Test** : 19歳未満、又は、24歳未満のフルタイムの学生であること。

Generally, a child must be **under age 19 or age 24 in the case of a full-time student** to be a qualifying child (although no age limit applies with respect to individuals who are totally and permanently disabled at any time during the tax year). A "full time" student is a student who attends an educational institution for at least part of each of five months during the taxable year. An "educational institution" is one that maintains full-time faculty and a daytime program. School attendance only at night does not qualify.

※ 年齢は、課税年度末の時点で判断する。

※ フルタイムの学生とは、当課税年度中の5ヵ月間に渡って教育機関にフルタイムで通学している者をいう。夜間のみ通学する者は含まれない。

※ 障害者の場合は、年齢に関係なく、この要件を満たす。

Example

Mr. and Mrs. Bush have 3 sons, Peter, David and Rick. Rick is 18 and earns \$4,000 per year from his part-time job. David is 22, a university full-time student, and earns \$8,000 from his part-time job. Peter is 25, a college full-time student, and earns \$10,000 from his part-time job. Rick meets the age test because he is under 19. David meets the age test because he is under age 24 who is full-time students. Peter does not meet the age limit test due to his age even though his is a full-time student.

- c. **Residency Requirement Test** : 半年超の期間、納税者と「同居」していること。

Under the residency requirement test, **the child must have the same principal place of abode as the taxpayer for more than on half of the tax year.**

If a foster child, must be for the whole year. 里子の場合は1年間同居が必要となる。

※ ベッカーのテキスト部分には記載されていないが、同居に関して下記の規定がある。

Temporary absences for special circumstances (such as for school, vacation, medical care, military service, or detention in a juvenile facility) count as time lived at home.

学校、休暇、入院などによる一時的な別居期間については同居していたとして扱われる。

Example

In 20X1, David is 22, and spends 9 months of the year away from home at his university. He spends the remaining 3 months with his parents. David meets the residency requirement test because the time he spent at his university is considered a temporary absence. Therefore, David is considered to have lived with his parents for 12 months.

In 20X2, David graduates from his university in May. Upon graduation, he takes a job in accounting firm. Rick does not meet the residency requirement test because he is considered to have lived with his parents for only 5 months.

- d. **Eliminate Gross Income Test** G I テスト (総所得の制限) は適用されない。

The gross income test (see “qualifying relative”) does not apply to “qualifying child”. However, the child is a qualifying child only if the taxpayer can and does claim an exemption for the child.

<補足解説> 19歳未満、又は、24歳未満のフルタイムの学生 であれば、アルバイトなどで稼いでいても構わないということである。

- e. **Support Test (modified)** その子供が自身の生活費の50%超を負担していないこと。

The support test has been modified to determine if the child did not contribute more than one-half of his or her own support. The requirement that the taxpayer (parent) provides over one-half of the child's support is eliminated.

<参考> “Qualifying Child” のサポートテストでは、納税者 (自分) 自身がその子供の生活費の50%超を援助している必要はない。そのため、1人の子供に対して複数の納税者が “Qualifying Child” の要件を満たしている場合がある。このような場合には、**Tie-Breaker Rules** という規定が適用されることになるが、現時点で本試験に出題される可能性は極めて低いと思われる。

前述の4つの要件 (テスト) を満たし、さらに、下記の2つの要件を満たしている必要がある。※ “Qualifying Relative” の c. と d. と同様の要件。

- f. **Joint Return Test** その配偶者と夫婦合算申告 (MFJ) を用いていないこと。

- g. **Citizenship Test** 米国市民または米国・カナダ・メキシコの居住者であること。

(2) Qualifying Relative (適格親族)

次の5つの要件(テスト)をすべて満たした者は、“Qualifying Relative”として税法上扱われる。※ 前述の“Qualifying Child”に該当しない者であっても、次の5つの要件を満たせば、扶養家族として扱われる。

- a. **Support Test** : 納税者が**その者の生活費の50%超を援助**していること。

The taxpayer must have provided more than one-half (>50%) of the support of a person in order to claim him or her as a dependent. Support means the actual expenses incurred by or on behalf of the dependent.

<参考>ここでいう「生活費」には、主に衣・食・住に係る次のような費用が含まれる。具体的には、衣料費(clothing)、食費(food)、住居費(lodging)、医療費(medical)、教育費(education)、娯楽費(recreation)、交通費(transportation)等が含まれる。なお、生活費の50%超の計算には、非課税の奨学金の受領や生命保険料の支払い等は含まれない。

一方、申告資格(当テキスト37ページ及び38ページ)の要件における「世帯の生活費(家計維持費)」には、主に食・住に係る費用のみが含まれる。賃借料(rent)(※自宅の賃貸価値は除く)、住宅担保ローンの借入利息(mortgage interest)、固定資産税(property taxes)、住宅の各種保険料(insurance)、住宅の修繕維持費(upkeep and repairs)、水道光熱費(utility charges)、食費(food consumed in the home)等が含まれる。

Example

Ms. Ross is 68 years old and lives in an apartment. Last year she received \$3,000 in nontaxable Social Security benefits and \$400 in taxable interest income, all of which was used for her support. Ms. Ross's daughter, Sara, paid \$4,800 during the year toward her mother's support.

Ms. Ross's total support is \$8,200 ($=\$3,000 + \$400 + \$4,800$). Sara paid more than half of her mother's support ($\$4,800 / \$8,200 = 59\%$). Sara can claim a dependency exemption for Ms. Ross.

- b. **Gross Income Test** : **その者のG I が Exemption の額未満**であること。

A person may not be claimed as a dependent unless **the dependent's (taxable) gross income is less than the exemption amount: \$3,950 (2014)**.

非課税所得(tax-exempt income)は、この計算に含まれないので注意しよう。

- Tax-exempt social security benefit (*at low income levels*) (非課税の社会保障給付)
- Tax-exempt interest income (非課税の利息)
- Tax-exempt scholarships (非課税の奨学金)

<参考>不動産賃貸所得については、経費を差し引く前の賃貸収入をこの計算に含める。自営業者の事業所得についても、経費(売上原価を除く)を差し引く前の事業収入をこの計算に含める。

- c. **Joint Return Test** : その者がその配偶者と夫婦合算申告をしていないこと。

A taxpayer will lose the exemption for a married dependent who files a joint return, **unless the joint return is filed solely for a refund of all taxes paid or withheld for the taxable year (i.e., the tax is zero).** Married children may be claimed as dependents provided they do not file joint returns with their spouses (except to claim a refund of all taxes paid) and provided they satisfy all other requirements for dependency.

但し、源泉徴収税額等の還付を受ける為にその配偶者と夫婦合算申告（MFJ）を用いた場合には、構わない。

※ 本試験対策上は、特に反する記述がなければ、このテストを満たしていると考えよう。

- d. **Citizenship test** : 米国民または米国、カナダ、メキシコの居住者であること。

The dependent must be either a U.S. citizen or a resident of the U.S., Mexico, or Canada.

※ 本試験対策上は、特に反する記述がなければ、このテストを満たしていると考えよう。

- e. **Relationship Test** : 3親等以内の親族であるまたは一年間同居していること。

Dependent is **related to the taxpayer (closer than cousin), OR resided with taxpayer for the whole year**, provided the taxpayer's relationship with that person does not violate local law.

3親等以内 (relative)	同居の必要なし
上記以外 (non-relative)	1年間同居の必要あり

Children, grandchildren, parents, grandparents, brothers, sisters, aunts and uncles, nieces and nephews (as well as stepchildren, in-law, etc.) can be claimed as dependents. Children include legally adopted children and stepchildren. Foster children, foster parents, and cousins must live with the taxpayer the entire year.

3親等以内の親族には、例えば、子供、孫、親、祖父母、兄弟姉妹、叔父母、甥姪などが含まれる。姻戚 (in-laws) も含まれるので注意しよう。

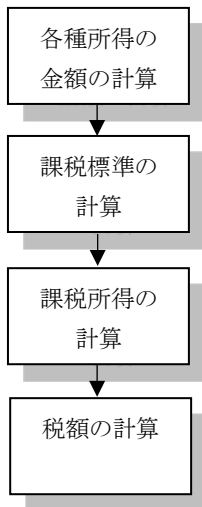
一方、**従兄弟・従姉妹 (cousin)** は3親等以内には含まれない。

JAPAN

知っておきたい日本の所得税の基礎知識

コーヒープレイク③

1) 所得税計算の流れ ※基本は米国と同様。



・・・個人が得た所得を10種類に区分して所得金額を計算する。
※所得区分については第5章：コーヒープレイク④で説明（当テキスト101ページ）。給与所得の計算は下記＜源泉徴収の見方＞参照。

・・・10種類の各種所得の金額を合計（総合）する。

・・・課税標準となる「総所得」から「所得控除」を差し引き、「課税所得」を計算する。

※各種所得控除は次ページを参照のこと。

・・・課税所得に超過累進税率などを適用して税額を算出する。
算出税額＜源泉徴収税額や予定納税額（いわゆる前払税金）
の場合には差額を還付、>の場合には納付となる。但し、
該当すれば、その他の「税額控除」が認められる。

※税額控除は第12章：コーヒープレイク⑦（当テキスト229ページ）

2) ＜源泉徴収票の見方＞ 第2章：コーヒープレイク②（当テキスト31ページ）の続き・・・

① 【支払金額】 給与収入：年収（給与・賞与の合計）※非課税の通勤交通費等を除く。

② 【給与所得控除後の金額】 $\text{給与所得の金額} = \text{給与収入} - \text{「給与所得控除額」}$

給与所得控除とは、サラリーマンの概算経費で、次の算式で計算します。

※但し、給与収入が660万円未満の場合には所得税法別表第五を用いて計算します。

給与収入	給与所得控除額
180万円以下	給与収入×40%（最低65万円）
180万円超 360万円以下	給与収入×30%+18万円
360万円超 660万円以下	給与収入×20%+54万円
660万円超 1,000万円以下	給与収入×10%+120万円
1,000万円超 1,500万円以下	給与収入×5%+170万円
1,500万円超	245万円（上限）

③ 【所得控除の額の合計額】 ↓ 次のページの各種所得控除の説明を参照のこと。

一般に、下記⑤⑥⑦の控除額+(a)基礎控除 (b/c)配偶者控除 (d)扶養控除の合計金額

④ 【源泉徴収税額】 課税所得（②－③の金額）に税率を掛けて算出される所得税額

課税所得	超過累進税率：税額の計算	
195万円以下	この部分の金額×5%=XX	合計額＝所得税額 ※復興特別所得税 が加算される。
195万円超 330万円以下	この部分の金額×10%=XX	
330万円超 695万円以下	この部分の金額×20%=XX	
695万円超 900万円以下	この部分の金額×23%=XX	
900万円超 1,800万円以下	この部分の金額×33%=XX	
1,800万円超	この部分の金額×40%=XX	

⑤ 【社会保険料等の金額】 自己負担分のみ ※会社負担分は含まれていません。

⑥ 【生命保険料の控除額】 ⑦ 【地震保険料の控除額】

※「給与所得控除額」に代えて、「**特定支出**（給与収入に係る実額経費）」を控除することもできます。詳細は国税庁のホームページ（<http://www.nta.go.jp/>）をご確認ください。

3) 14種類の所得控除（平成26年度4月1日確定法令準拠）

日本の所得税では、主に14種類の所得控除が認められています。それぞれ単独で控除が受けられるかどうかを判断します。

※下記以外の所得控除は、第9章：コーヒープレイク⑥で説明（当テキスト167ページ）

(a) 基礎控除：38万円

基礎控除とは納税者自身に対して認められる控除で、すべての人に無条件で38万円の控除が認められています。

(b) 配偶者控除：原則38万円

配偶者控除は、納税者が法律上の配偶者を扶養している場合に、その生活費の負担を考慮して認められる控除です。納税者が配偶者を扶養していることが前提となるため、その配偶者が控除対象配偶者に該当しなければ適用は受けられません。控除対象配偶者とは、生計を一にしている配偶者のうち、1年間の所得金額が38万円以下の人をいいます。例えば、配偶者がパートタイマーの場合には、パート収入から「給与所得控除額（最低65万円）」を控除した金額となるため、パート収入が103万円（＝38万円＋65万円）以下ならばOK。

(c) 配偶者特別控除：最高38万円 ※配偶者控除との重複適用はありません。

配偶者特別控除は、生計を一にしている配偶者の所得金額が38万円超76万円未満であれば原則として適用できます。例えば、配偶者がパートタイマーの場合には、パート収入が103万円超141万円未満であれば適用できます。但し、納税者本人の所得金額が1,000万円を超える場合には適用できません。なお、配偶者特別控除額は、配偶者の所得金額が増えるに従って、控除額が徐々に減っていきます（38～3万円）。

(d) 扶養控除：1人当たり原則38万円（特定扶養親族：63万円）

扶養控除は、納税者が配偶者以外の親族を扶養している場合に、その生活費の負担を考慮して認められる控除です。扶養控除についても、その親族が扶養親族に該当しなければ適用は受けられません。扶養親族とは、生計を一にしている親族（3親等以内の姻族及び6親等以内の血族）のうち、所得金額が38万円以下の人をいいます。なお、平成23年より、16歳未満の扶養親族については（子ども手当の導入に伴い）扶養控除の対象から外れました。特定扶養親族とは、その年の12月31日時点における年齢が19歳以上23歳未満の者をいう。

(e) 社会保険料控除：支払った社会保険料の全額（現金基準）

サラリーマンの場合には、健康保険の保険料、厚生年金の掛金、雇用保険の保険料、介護保険の保険料などの全額を控除することができます。

(f) 生命保険料控除：最高12万円 / (g) 地震保険料控除：最高5万円（現金基準）

いずれもその保険料を支払った場合に認められる控除です。

3. Specific Items of Gross Income (総所得算入項目)

(Becker, R1-17~46, R2-14~15)

Income	7	Wages, salaries, tips, etc. Attach Form(s) W-2		7		
	8a	Taxable interest. Attach Schedule B if required		8a		
	b	Tax-exempt interest. Do not include on line 8a		8b		
	9a	Ordinary dividends. Attach Schedule B if required		9a		
	b	Qualified dividends		9b		
	10	Taxable refunds, credits, or offsets of state and local income taxes		10		
	11	Alimony received		11		
	12	Business income or (loss). Attach Schedule C or C-EZ		12		
	13	Capital gain or (loss). Attach Schedule D if required. If not required, check here ☐ 13		13		
	14	Other gains or (losses). Attach Form 4797		14		
Attach Form(s) W-2 here. Also attach Forms W-2G and 1099-R if tax was withheld.	15a	IRA distributions	15a		b Taxable amount	15b
	16a	Pensions and annuities	16a		b Taxable amount	16b
	17	Rental real estate, royalties, partnerships, S corporations, trusts, etc. Attach Schedule E		17		
	18	Farm income or (loss). Attach Schedule F		18		
	19	Unemployment compensation		19		
	20a	Social security benefits	20a		b Taxable amount	20b
	21	Other income. List type and amount		21		
	22	Combine the amounts in the far right column for lines 7 through 21. This is your total income 22		22		

If you did not
get a W-2,
see instructions.

Major Inclusions

- ① Salaries, wages, tips (給与収入：人的役務報酬)
- ② Taxable interest income (利子収入)
- ③ Dividend income (配当収入)
- ④ Tax refund of state & local income taxes (州・地方所得税の還付金)
- ⑤ Alimony received (離婚扶助手当)
- ⑥ Business income or loss (自営業者の事業所得)
- ⑦ Capital gains or losses / Other gains or losses (資産取引から生じる損益：譲渡所得)
- ⑧ IRA distributions (Traditional IRA income) (個人退職年金口座からの引き出し)
- ⑨ Pension and annuities (年金収入)
- ⑩ Rental income or loss (不動産賃貸所得)
- ⑪ Income from partnerships and S corporation (パートナーシップ等からの所得)
Income from estate and trust (遺産財団または信託からの所得)
- ⑫ Farm income or loss (農業所得)
- ⑬ Unemployment benefits (失業保険給付)
- ⑭ Social security benefits (社会保障給付)
- Other income (雑所得：その他の所得)
- ⑮ Prize & awards (賞金・賞品) ⑯ Gambling winnings (ギャンブル収入)
- ⑰ Illegal income (違法な所得) ⑱ Income from discharge of indebtedness (債務免除益)
- ⑲ Income in respect of a decedent (故人に関連した所得) ⑳ Jury duty pay (陪審員報酬)

(1) Salaries, Wages, Tips (Compensation for Services) (給与収入：人的役務報酬)

Gross income includes many forms of compensation for services. These include salaries, wages, fees, commissions, tips, bonuses, and other specialized forms of compensation. If property or service received as compensation, **Fair Market Value** of the property is included in gross income. If an employer sells property to the employee for less than its fair market value, the difference is income to the employee. 給料、賃金、チップ、賞与などの人的役務報酬（給与収入）は、G I に含まれ課税対象となる。Form 1040の1 ページ目の7行目に記入する。

- ・ **現物 (property) を受領した場合には、受領日における時価 (FMV) で評価**される。
- ・ 雇用主から資産を時価よりも安い価格で購入した場合 (※bargain purchase という)、その時価と購入価格との差額をG I に含めなければならない。適格従業員割引を除く。

Example

A taxpayer performs services and receives a car with a fair market value of \$3,000 as compensation. The \$3,000 is included in GI. (Becker, R1-15)

<補足解説> サラリーマン：給与所得者の場合、毎年1月末頃に雇用主から「**Form W-2 : Wages and Tax Statement** (日本でいう給与所得の源泉徴収票)」を受領する。このフォームには、給与等の年間支払額、源泉徴収税額などが記載されている。この情報を基に申告書を作成し、通常、申告書への添付書類として IRS に提出する。

※申告書作成のための必要書類リストは、問題集 Vol.2 : FORM 集 F-5ページに掲載している。

a Control number		OMB No. 1545-0008		Safe, accurate, FAST! Use  Visit the IRS website at www.irs.gov/efile.	
b Employer identification number (EIN) 10-0023456				1 Wages, tips, other compensation 28,345.00	2 Federal income tax withheld 2,707.00
c Employer's name, address, and ZIP code Anytown High School 3 Main Street Any Town, US 00001				3 Social security wages 28,345.00	4 Social security tax withheld 1,757.39
				5 Medicare wages and tips 28,345.00	6 Medicare tax withheld 411.00
				7 Social security tips	8 Allocated tips
d Employee's social security number 223-00-9753				9 Advance EIC payment	10 Dependent care benefits
e Employee's first name and Initial Cicely B.		Last name King		11 Nonqualified plans	
2344 Elm Avenue Any Town, US 00001				12a See instructions for box 12	
				12b	
				12c	
				12d	
f Employee's address and ZIP code					
15 State	Employer's state ID number	16 State wages, tips, etc.	17 State income tax	18 Local wages, tips, etc.	19 Local income tax
					20 Locality name

Form W-2 Wage and Tax Statement

Department of the Treasury—Internal Revenue Service

Copy B—To Be Filed With Employee's FEDERAL Tax Return.
This information is being furnished to the Internal Revenue Service.

<参考> 日本の所得税では、ご存じの通り、給与収入から一定の「給与所得控除額（概算経費として最低65万円）」を差し引いて給与所得が計算される。※ 当テキスト52ページを参照のこと。
源泉徴収票に、給与所得控除後の金額が記載されているので、確認してみよう。

＜参考＞ 農業従事者の農業所得には、様々な特例が適用される。例えば、下記英文記載の「課税所得の平均化」が認められている。この他には、予定納税や申告期限等に関する特例がある。

Farmers may be able to average all or some of his current year's farm income by shifting it to the 3 prior years (base years). This election may give him a lower tax if his 200X income from farming or fishing is high and his taxable income for one or more of the 3 prior years was low.

(13) Unemployment Compensation (Unemployment Benefits) (失業保険給付)

Both government-financed and employer-financed unemployment compensation are **fully taxable**.

失業保険給付金は、「全額」G I に含められ課税対象となる。Form 1040の1 ページ目の19行目に記入する。なお、雇用者から支払われた失業補償も同様である。

(14) Social Security Benefits (Social Security Income) (社会保障給付)

Social security benefits received might be included in gross income. Taxpayers are classified into five categories depending on the level of provisional income which is defined as AGI plus tax-exempt interest plus 50% of Social Security benefits.

Taxpayers must include in income the lesser of 50% (or 85%, depending on income) of social security received or 50% (or 85%, depending on income) of the excess provisional income over the threshold.

社会保障給付金は原則としてG I に含められ課税対象とはなるが、所得の大きさ（ここでは "provisional income" が基準となる）に応じて課税対象となる割合(%)が異なる。受領額のうち、課税対象となる金額を Form 1040の1 ページ目の20b 行目に記入する。

Low Income	= <u>No (0%) Social Security benefits are taxable.</u> (income below: single \$25,000 / MFJ \$32,000)
Lower Middle Income	= Less than 50% of SS benefits are taxable.
Middle Income	= 50% of SS benefits are taxable.
Upper Middle Income	= Between 50% and 85% of SS benefits are taxable.
Upper Income	= <u>85% of Social Security benefits are taxable.</u> (income over single \$34,000 / MFJ \$44,000)

低額所得者（単身者の場合、"provisional income" が\$25,000 以下）は、給付額を全額非課税とすることができる。

どんなに高額所得者であろうとも、最高で給付額の85%のみが課税対象となる。

Point !

Provisional Income

Provisional income = AGI※ + Tax-exempt interest + 50% of Social Security benefits

※ここでいう AGI は Social Security benefits を含める前の金額である。

4. Other Items of Gross Income (雑所得：その他の所得)

特に申告書上記載する行が設けられていない課税対象となる所得項目については、Form1040の1 ページ目の21行目：Other income (雑所得：その他の所得) にその合計金額を記入する。

(1) Prizes and Awards (賞金・賞品)

The fair market value of prizes and awards is taxable. *Awards for religious, charitable, scientific, educational, artistic, literary, or civic achievement are excluded from income if the winner did not enter the contest or proceeding (i.e., selected without any action), is not required to perform future service to receive the payment, and assigns the awards **directly** to a governmental unit or charitable organization.*

賞金は、「雑所得 (other income)」としてG I に含められ課税対象となる。但し、一定の功績に対する賞金は、政府組織または慈善団体に「**直接**」譲渡されたのであれば、非課税。下記 (※補足) を参照のこと。なお、クイズ番組やコンクール等の賞品は、受領日における時価 (FMV) で評価される。

(※補足) 厳密には、以下の要件をすべて満たした場合に、非課税扱いが認められる。

- ・宗教、慈善、科学、教育、芸術、文学、市民活動などの功績により、受賞したこと。
- ・受賞者が何ら行動することなく受賞したこと。
- ・受賞の条件として役務提供が要求されていないこと。
- ・政府組織または慈善団体に対して「直接」譲渡されていること。

(2) Gambling Winnings (ギャンブル収入)

① Winnings

Gambling winnings (for all taxpayers except professional gamblers in the business of gambling) are included in gross income.

宝くじ、カジノなどでのギャンブル収入 (gambling winnings) は、「雑所得 (other income)」として全額G I に含められ課税対象となる。

② Losses

Unless the taxpayer is in the trade or business of gambling (which follows other specific reporting rules), **Gambling losses may only be deducted to the extent of gambling winnings.** Gambling losses are deductible as an itemized miscellaneous deduction but are not subject to the 2% of AGI limitation.

ギャンブル損失 (gambling losses) は、その年度のG I に含めたギャンブル収入を上限として、項目別控除 (itemized deduction) の雑控除で控除可。

詳細は、第10章で学習する。

1. Alimony Paid (離婚扶助手当の支払い)

(Becker, R2-14~15)

Payments for the support of a spouse are income to the spouse receiving the payments and are deductible to arrive at adjusted gross income (above the line deductions) by the contributing spouse.

支払者は、**離婚扶助手当 (alimony)** として支払った額を、AGIの上で控除可。
控除額と受領者の社会保障番号を Form 1040の1ページ目の31a行目に記入する。

2. Retirement Plan Contribution (退職年金口座への積立て)

(Becker, R1-38~39, R2-4~10, R2-13~14)

サラリーマン (給与所得者)

サラリーマンの場合、企業年金 (employer's retirement plan) に加入しているのが一般的ではあるが、老後に備えてさらに貯蓄をしておくために、「**個人退職年金口座 (Individual Retirement Account: IRA)**」を銀行や生命保険会社等の金融機関で開設することができる。主に以下の4つが試験に出題されているが、個人退職年金口座 (IRA) は、課税の面で非常に優遇されている。

- ① Traditional IRA
- ② Roth IRA
- ③ Non-deductible IRA
- ④ Education IRA

① Traditional (Regular / Deductible) IRA

Deductible
Roth
Non-deductible
Education

(a) Contribution : Deductible

The regular IRA is deductible from gross income to arrive at adjusted gross income.

個人退職年金口座 (IRA) への積立額を、AGIの上で控除することができる。
控除額を Form 1040の1ページ目の32行目に記入する。

(b) Tax-free Accumulation of Earnings (Deferred)

Earnings accumulate tax-free till distributions (deferred).

(c) Withdrawals (Distributions) : Taxable

Withdrawals from regular IRAs are taxable as ordinary income and may be subject to applicable penalties.

退職後にこの口座から引き出す際には、収益 (earnings : 利息相当) に加えて、積立元本部分も課税対象となる。

Point !***Pension & Annuities vs. Traditional IRA***

	Pension & Annuities	Traditional IRA
Contributions (在職中)	Nondeductible	Deductible
Withdrawals (退職後)	Principal: Nontaxable Earnings: Taxable	Principal: Taxable Earnings: Taxable

(d) Amount of Deduction (Deduction Limit) (控除上限額)**(i) Single Taxpayer**

The maximum deduction is limited to the lesser of:

<u>2003 – 2004</u>	<u>2005 – 2007</u>	<u>2008 – 2012</u>	<u>2013 – 2014</u>
\$3,000	\$4,000	\$5,000	\$5,500

OR

The individual's **earned income** (compensation).

独身の納税者の場合、原則として、**年間 \$ 5,500 もしくは勤労所得のいずれか小さい方**を上限として控除可。(※金額は2014年度)

The adjustment is allowed for a year only if the contribution is made by the due date of the tax return for individuals, which is *April 15* (filing extensions are not considered). 原則の申告期限である4/15までに積み立てれば、控除が認められる。以下の夫婦合算申告 (MFJ) の場合も同様。

(ii) Married Taxpayers (Joint Return : MFJ)

The maximum deduction for married couple filing jointly is limited to the lesser of:

<u>2008 – 2012</u>	<u>2013 – 2014</u>
\$10,000 (\$5,000 each spouse)	\$11,000 (\$5,500 for each spouse)

OR

Combined **earned income** (compensation).

夫婦合算申告 (MFJ) を用いている場合には、原則として、**年間 \$ 11,000 (\$ 5,500 × 2 人分) もしくは夫婦の合算勤労所得のいずれか小さい方**を上限として控除可。たとえ一方の配偶者にしか稼ぎがなくても、その勤労所得が \$ 11,000 (\$ 5,500 × 2 人分) 以上あれば2人分の控除が認められる。

(e) Earned Income (Compensation) Defined

Compensation includes salary, wages, commissions, net business income and **alimony**; does not include interest, dividends, annuities, and pensions.

ここでいう勤労所得 (earned income) には、離婚扶助手当の受領額が含まれる。

JAPAN**知っておきたい日本の所得税の基礎知識****コーヒープレイク⑦**

日本の所得税では、以下のような「税額控除」が認められています。

(平成26年度4月1日確定法令準拠)

1) 住宅ローン控除

住宅ローン控除（住宅借入金等特別控除）は、住宅を金融機関などからの借入金（ローン）で取得した場合に「ローンの負担（返済）」を軽減するために設けられた“税額控除”です。なお、借入金（ローン）の返済期間が10年以上であることが要件となります。

住宅ローン控除は、居住年から10年間控除が認められますが、控除する年分の所得金額が3,000万円以下でなければ適用できないので注意が必要です。控除額は、それぞれの年の12月31日現在の借入金残高に一定の割合を乗じて計算します。

住宅ローン控除を給与所得者（サラリーマン）が適用する場合、その適用初年度は必ず確定申告を行わなければならない。翌年以降は、年末調整により控除することができます。

2) 特定増改築に係る住宅ローン控除・税額控除

住宅のバリアフリー化や省エネ化を目的とした改修工事を行った場合、一定の要件のもとローン控除や税額控除の規定があります。

3) 配当控除

日本では法人税と個人所得税の二重課税を調整するために配当に係る税額の控除を認めています。配当控除の適用を受けられる配当は、日本国内に本店のある法人から受ける剰余金の配当、利益の配当、剰余金の分配、証券投資信託の収益の分配などで、確定申告において総合課税の適用を選択した配当所得に限られます。詳細は、国税庁のホームページ (<http://www.nta.go.jp/>) をご覧ください。

4) 寄付金特別控除

政党・認定NPO法人・公益法人などに対して寄付を行った場合に認められる税額控除です。所得控除として寄付金控除の適用を受けるか、または税額控除の適用を受けるか、いずれか有利な方を選択することができます。